

令和3年度全国学力・学習状況調査における幸田町児童生徒の結果について

令和3年12月

1 調査の概要（令和3年度実施分）

- (1) 調査期日 令和3年5月27日（木）
- (2) 対象学年・人数 小学校6年 418名、中学校3年 426名 ※悉皆方式
- (3) 調査項目
 - ① 教科 小学校：国語、算数、 中学校：国語、数学
 - ② 学習・生活習慣等の状況調査（質問による）

2 幸田町全体の傾向について

(1) 教科の状況

本町児童生徒の傾向について、全国と比較をしました。

（全体の結果概要：小学校）

算数については、全国よりよくできています。国語については、努力を要する状況にあると言えます。

（全体の結果概要：中学校）

国語、算数共に努力を要する状況にあると言えます。

（中学校3年生が小学校6年生であったときとの比較）

現中学校3年生が小学校6年生であった平成30年度と比較をしました。

小学校6年生であったときは、国語・算数共に「知識」、「活用」が努力を要する状況でした。その児童が中学校3年生となった今年度、国語・数学共に、大きな変化は見られませんでした。

（各教科の学習領域での結果）

全国の状況と比較し、各教科の学習領域で、「よくできていた領域」「課題がある領域」の主な内容を示します。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ◎ たいへんよくできている内容 | ○ おおむねよくできている内容 |
| △ 努力を必要とする内容 | |

【小学校6年生】

国 語	◎学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。
	◎文の中における主語と述語との関係を捉える。 △自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える。
算 数	△目的や意図に応じて、理由を明確にしながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。
	◎速さと道のりを基に、時間を求める式に表すことができる。
	◎集団の特徴をとらえるために、どのようなデータを集めるべきかを判断することができる。 ◎示された除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することができる。 △データを二次元の表に分類整理することができる。

【中学校3年生】

国 語	<p>◎文脈に即して漢字を正しく読む。</p> <p>○事象や行為などを表す多様な語句について理解する。</p> <p>△書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く。</p>
数 学	<p>◎整式の加法と減法の計算ができる。</p> <p>◎与えられたデータから中央値を求めることができる。</p> <p>△数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができる。</p> <p>△データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。</p>

(2) 学習・生活習慣等の状況（質問より）

学習・生活習慣（質問内容）と正答率との関係を分析しました。質問内容に対して、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」とする回答率の高かったものに加え、全国と比較して回答率が高かったものを対象としました。その主な内容を示します。

- 質問内容と正答率の相関関係が見られたもの
- ・質問内容への回答率及び全国と比較して回答率が高かったもの

（小学校の学習・生活習慣等の状況と正答率について）

- 朝食を毎日食べていますか
- 人が困っているときは、進んで助けていますか
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
- 人の役に立つ人間になりたいと思いますか
- 友達と協力するのは楽しいと思いますか
- 学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか
- 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか
- 算数の勉強は大切だと思いますか
- 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
- 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか
 - ・自分には、よいところがあると思いますか
 - ・今住んでいる地域の行事に参加していますか
 - ・算数の勉強は好きですか

（中学校の学習・生活習慣等の状況と正答率について）

- 朝食を毎日食べていますか
- 毎日同じくらいの時刻に起きていますか
- 人が困っているときは、進んで助けていますか
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
- 人の役に立つ人間になりたいと思いますか
- 友達と協力するのは楽しいと思いますか
- 学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか
- 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか
- 数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか
 - ・将来の夢や目標を持っていますか
 - ・自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか
 - ・人の役に立つ人間になりたいと思いますか
 - ・今住んでいる地域の行事に参加していますか

この分析より、「本町の子どもよさ」として次のような姿が浮かんできました。

- | |
|--|
| ◎人の役に立ちたいと願う思いやりのある子ども
◎地域の人・こと・ものに対して積極的に関わっている子ども
◎人のために働きかけようとする子ども
◎ものごとを最後までやり遂げ、達成感を味わっている子ども |
|--|

一方で、質問内容への回答率及び全国と比較して回答率が低かったものとして、次の点が小学校と中学校に共通して明らかとなりました。

- ・携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか
- ・自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか
- ・家で自分で計画を立てて勉強をしていますか
- ・学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して相手の考えを最後まで聞き、友達の考えを受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか

3 調査結果を受けて

この結果は、幸田町全体の傾向であり、各学校によって結果や課題は異なっています。

幸田町全体としては、小学校ではまず、思考力、判断力、表現力等における「話すこと・聞くこと」の中で、「自分の考えが伝わるように表現できる力を伸ばすこと」に取り組むことが必要だと考えます。中学校では、国語において「書くこと」「読むこと」、数学において「図形」「関数」に関して、説明する力を育てることで更に力を伸ばすことができると考えます。

幸田町教育委員会は、これまで通り、町全体の分析結果や指導改善のポイントを、文部科学省配付資料や愛知県教育委員会配付資料とあわせて各校に周知し、授業改善に活かせるようにしています。また、少人数指導や新学習指導要領における授業力向上のための研修など、環境整備も継続して進めていきます。

同時に各学校も結果を分析しています。そして、各学校の課題を明らかにし、子どもの実態に応じた授業改善を図っています。

家庭においては、子どもの学力の状況を知るとともに、普段の生活から見通しをもった取組や前向きな生活習慣の確立を図るなど、子どもが学習に対して意欲をもって取り組むことができるような励ましをお願いします。

この調査は、小学校6年生と中学校3年生を対象に、国語と算数・数学について調査したものです。この調査で測定できるのは、学力の特定の一部です。子どもの学力や生活のすべてを表しているわけではありません。そのことを十分踏まえたうえで、調査結果を今後の指導に活かしていきたいと考えています。
--

問い合わせ先 幸田町教育委員会学校教育課 学校指導G

TEL 0564-62-1111 (内線424)